

平成23年度 功 勞 賞 受 賞 者

(市町村体育協会推薦)

番号	氏 名	ス ポ ー ツ 関 係 歴	推薦団体	推 薦 理 由
1	ゆうき たけのり 結城 武則	平成11年 4月～15年 3月 天童市体育協会 副会長 平成15年 4月～23年 3月 天童市体育協会 会長	天童市 体育協会	平成15年より天童市体育協会の会長として、地域スポーツの振興並びに競技力向上に尽力された。民間からの会長就任は設立初のこと、組織の強化と運営に対する貢献は大である。
2	はらだ かずひろ 原田 一廣	平成元年 4月～7年 3月 中山町体育協会 理事 平成7年 4月～13年 3月 中山町体育協会 常任理事 平成13年 4月～19年 3月 中山町体育協会 副会長 平成19年 4月～現在 中山町体育協会 理事長 平成19年 4月～現在 山形県体育協会 評議員	中山町 体育協会	中山町体育協会において、永きにわたりスポーツの振興と普及に尽力されている。また、所属する中山町体育協会剣道部において、「児玉清一杯争奪居合道大会」、「中山剣道祭」、「体験居合道教室」など多くの事業を展開し、剣道並び居合道において多大な貢献をされている。
3	にしだ かつみ 西田 克	平成12年 4月～現在 山形県体育協会 評議員 平成12年 4月～23年 3月 平田体育協会 副会長 平成23年 4月～現在 平田体育協会 会長 平成12年 4月～23年 3月 飽海地区体育協会 評議員 平成23年 4月～現在 飽海地区体育協会 副会長 平成12年 4月～現在 庄内地区体育協会連絡協議会 理事・幹事	平田 体育協会	平田体育協会副会長を10年以上歴任し、現在平田体育協会会長を務めており、長年にわたり地域スポーツ振興に尽力された。また、平成12年度から県体育協会の評議員に就任し、運営に貢献された。他にも、平田町スポーツ少年団本部長、酒田市スポーツ少年団副本部長を歴任され、酒田地区剣道連盟の理事も就任されており、本県並びに地域スポーツの普及・発展に多大な貢献をされた。
4	いしぐろ ひとし 石黒 均	平成13年 4月～現在 平田体育協会 副会長 平成22年 4月～現在 平田体育協会 野球連盟会長 平成13年 4月～現在 飽海地区体育協会 評議員 平成13年 4月～現在 庄内地区体育協会連絡協議会 理事	平田 体育協会	平成13年から長年にわたり、平田体育協会副会長として、地域のスポーツ振興に貢献された。

(競技団体推薦)

番号	氏 名	ス ポ ー ツ 関 係 歴	推薦団体	推 薦 理 由
5	ながめま ちとせ 長沼 千歳	昭和44年 4月～現在 山形県水泳連盟 競技役員、水泳指導員 平成元年 4月～現在 山形県水泳連盟 競技委員会委員 平成元年 4月～18年 3月 山形県水泳連盟 評議員 平成18年 4月～現在 山形県水泳連盟 理事 平成4年 4月～現在 日本水泳連盟 指導員 検定委員 平成8年 4月～現在 山形市水泳連盟 事務局長、理事長 平成8年 4月～現在 山形市体育協会 評議員、理事	山形県 水泳連盟	永年にわたり、県水泳連盟の役員として、水泳の普及、競技力・泳力の向上及び大会運営を通しての組織の発展への尽力等、多方面にわたって寄与された。特に指導者の立場では、小学校における校外指導員としての水泳指導、知的障害者への指導、また山形水球クラブ代表としての小・中学校生徒への水球普及活動と、多岐な活動を行っている。
6	やはぎ はるお 矢萩 治男	平成3年 4月～5年 3月 山形陸協 情報処理副部長・常任理事 平成5年 4月～13年 3月 山形陸協 情報処理部長・常任理事 平成13年 4月～23年 3月 山形陸協 事務局長・常任理事 平成23年 4月～現在 山形陸協 副理事長・常任理事 昭和62年 3月～平成4年 3月 山形陸協 競技力向上後援会事務局長 平成9年 4月～13年 3月 日本陸連 情報処理副部長	山形陸上 競技協会	山形陸上競技協会の常任理事として、21年にわたり、平成4年べにばな国体、平成10年全日本中学陸上、平成20年全日本実業団陸上、平成21年東日本実業団陸上などの全国大会をはじめ、県選手権、国体予選などの県内主要大会の競技運営、企画に指導役として努めた。特に、べにばな国体に向けた選手強化の支援、同国体におけるコンピュータ運営の先導役、さらに事務局長として当協会の運営に尽力された。
7	たけだ けんいち 武田 憲一	平成元年 4月～7年 3月 山形県バレーボール協会 理事 平成7年 4月～13年 3月 山形県バレーボール協会 常任理事 平成13年 4月～15年 3月 山形県バレーボール協会 副理事長 平成15年 4月～23年 3月 山形県バレーボール協会 理事長 平成23年 4月～現在 山形県バレーボール協会 顧問 平成15年 4月～23年 3月 東北バレーボール協会 理事 平成15年 4月～23年 3月 (財)日本バレーボール協会 評議員	山形県 バレーボール 協会	永年にわたり、県バレーボール協会の役員として、当協会の発展のために尽力された。特に、理事長として創立60周年記念事業の発展、国体の天皇杯得点獲得のための強化体制の確立、そしてパイオニアレッドウィングスのホームゲーム開催等に尽力された功績は大である。現在は、当協会の顧問を務めている。

番号	氏名	スポーツ関係歴	推薦団体	推薦理由
8	さいとう ゆみ 齊藤 友美	平成3年4月～23年3月 山形県体操協会 副会長 平成3年4月～23年3月 山形県ジュニア体操協議会 会長 平成3年4月～23年3月 酒田地区体操協会 副会長	山形県 体操協会	永年にわたり、県体操協会の副会長として協会の発展に貢献された。また、アテネ学園の園長を務めており、幼稚園での体操教室をきっかけにアテネ体操クラブに進む子どもたちの育成に努めながら、東北ジュニア大会等に数多くの優秀な選手を輩出するなど、本県体操競技のジュニア育成・強化に尽力された。
9	いしやま のぼる 石山 昇	昭和40年4月～47年3月 山形県バスケットボール協会 理事 昭和47年4月～58年3月 山形県バスケットボール協会 審判部長、常任理事 昭和58年4月～平成11年3月 山形県バスケットボール協会 理事 昭和58年4月～平成11年3月 山形地区バスケットボール協会 副理事長 平成11年4月～18年3月 山形県バスケットボール協会 副会長 平成11年4月～18年3月 山形地区バスケットボール協会 会長 平成18年4月～現在 山形県バスケットボール協会 顧問	山形県 バスケットボール 協会	昭和30年代、寒河江高校女子バスケットボール部の外部コーチとして指導力を発揮し、東北大会で優勝するとともにインターハイや国体出場を果たした。また、本県協会審判部長として、審判技術の向上と組織の強化に尽力された。さらに、県協会副会長並びに山形地区バスケットボール協会会長として、本県バスケットボールの競技力向上及び振興発展に大きく寄与された。特に、地区協会会長として、地区内の小・中・高・大学・社会人の各チームの強化育成に尽力し、全国大会で活躍するチームを多数輩出させた功績は誠に大きい。
10	かめおか つよし 亀岡 剛	昭和60年4月～平成15年3月 山形県卓球協会 理事 平成2年4月～8年3月 山形県卓球協会 総務部 平成16年4月～現在 山形県卓球協会 副会長	山形県 卓球協会	氏は、米沢中央高校卓球部を幾度となく優勝に導き、選手強化の手腕には特筆するものがある。昭和60年度から平成14年度まで県卓球協会理事として活躍された中で、平成2年度から7年度は米沢地区卓球協会理事長並びに県卓球協会総務部として活躍し、べにはな国体卓球競技総合優勝に大きく貢献された。その後、平成16年からは県卓球協会副会長として尽力され、近年では、平成19年に米沢市で開催された東北レディース卓球大会を成功裡に導くなど、協会役員の先頭に立ち、大会運営や協会の発展に寄与した功績は顕著である。
11	さとう せいいち 佐藤 精一	昭和43年4月～平成3年3月 酒田地区野球連盟 審判員 平成3年4月～7年3月 酒田地区野球連盟 審判部副部長 平成7年4月～19年3月 酒田地区野球連盟 審判部部長 平成19年4月～23年3月 酒田地区野球連盟 理事長 平成23年4月～現在 酒田地区野球連盟 副会長 平成7年4月～19年3月 山形県野球連盟 理事 平成19年4月～23年3月 山形県野球連盟 常任理事 平成23年4月～現在 山形県野球連盟 理事 平成19年4月～現在 (財)酒田市体育協会 理事	山形県 野球連盟	永年にわたり、野球審判員・審判技術指導員として本県野球界の発展に尽力してきた。また、酒田地区野球連盟理事長・副会長として地区野球界をまとめるとともに、酒田市体育協会の一員として、地域スポーツの振興と青少年の健全育成に努めてきた。特に、本県野球界の発展に寄与したことはもとより、地域の青少年の健全な心身の育成に貢献し、野球の普及振興と地域振興に努めた功績は大きい。
12	さいとう かんゆう 齊藤 勘雄	昭和59年4月～平成8年3月 最北地区ソフトボール協会 審判委員長 昭和63年4月～平成8年3月 最北地区ソフトボール協会 副理事長 平成8年4月～17年12月 最北地区ソフトボール協会 副会長 平成18年1月～現在 最北地区ソフトボール協会 会長 平成18年1月～現在 山形県ソフトボール協会 副会長	山形県 ソフトボール 協会	永年にわたり、地域におけるソフトボールの普及に率先して取り組まれるとともに、昭和43年以降は審判員としても精励され、県ソフトボール協会及び地区協会の運営に尽力されている。また、昭和40～50年代にかけてクラブ登録チームに所属して活躍された。平成4年の「べにはな国体」では、地区協会の審判委員長として、審判員の育成に指導的な役割を果たされるとともに、役員として組織の運営、活性化にも尽力され、その功績は誠に顕著である。
13	こばやし やすお 小林 保夫	昭和60年4月～現在 山形県バドミントン協会 監事 昭和45年4月～48年3月 鶴岡バドミントン協会 事務局次長 昭和48年4月～平成元年3月 鶴岡バドミントン協会 事務局長 平成元年4月～現在 鶴岡バドミントン協会 副会長	山形県 バドミントン 協会	永年にわたり、県バドミントン協会の監事として、当協会の会計を厳しく監督され、明朗な会計の執行を指導している。また、鶴岡バドミントン協会の事務局を42年の長きにわたり務められ、地区の業務運営を円滑に行い、現在も後進の指導にあたっており、その功績は顕著である。県、地区の役員を兼ねながら、協会の運営に尽力された功績は誠に大きい。

番号	氏名	スポーツ関係歴	推薦団体	推薦理由
14	おおぬま しげゆき 大沼 茂幸	昭和62年 4月～平成22年 3月 山形県剣道連盟 評議員 最北地区剣道連盟 事務局長 新庄地区剣道連盟 事務局長	山形県 剣道連盟	23年もの永きにわたり、県剣道連盟評議員、地区剣道連盟事務局長として会員の取りまとめや情報の伝達周知、各種剣道大会、剣道段級位審査会等の企画・運営に尽力され、県及び地区剣道の振興・発展に多大な実績を挙げ、組織への貢献大なるものがある。また、県剣道連盟主催の研修会、各種講習会、稽古会等には、氏自ら積極的に参加し、自己の研鑽に努めるとともに、地域のスポーツ少年団並びに一般団体の指導に誠心誠意尽力された。その結果、地区並びに本県における「正しい剣道の普及」に多大な影響を与えた実績は偉大である。
15	おおた ひろし 太田 弘	昭和60年 4月～平成19年 3月 山形県山岳連盟 理事 平成 8年 4月～12年 3月 山形県山岳連盟 遭難対策委員長	山形県 山岳連盟	県山岳連盟理事及び遭難対策委員長に就任後、平成11年には本県で開催された日本山岳協会遭難対策全国委員会を成功させた。また、山岳団体岳人長井代表をはじめ長井市山岳遭難対策委員として、山岳救助を指揮し救助活動の迅速化を進めた。現在は、遭難防止と救助活動に身を挺しながら、安全登山と自然保護活動の陣頭に立たれ、朝日山系の登山道管理をはじめ県内の山岳団体の交流を通して、登山界の今後のあるべき姿を模索しながら後輩の指導育成に専念されている。
16	つちだ しょうご 土田 昭五	平成13年 4月～20年 3月 山形県グラウンド・ゴルフ協会 副会長 平成20年 4月～現在 山形県グラウンド・ゴルフ協会 会長	山形県 グラウンド・ ゴルフ協会	県グラウンド・ゴルフ協会において、平成13年より現在まで11年間の長きにわたり会長等の役職に就き、生涯スポーツとしてのグラウンド・ゴルフの普及・発展に尽力された。当協会の草創期より、協会の円滑な運営、拡充強化及び会員増に努め、県民の特に高齢者の心身の健康増進及び親睦・交流に大きく貢献された。

平成23年度 功労賞(ライオンズスポーツ賞)受賞者

(競技団体推薦)

番号	氏名	スポーツ関係歴	推薦団体	推薦理由
1	たしろ ゆういち 田代 祐一	平成21年度 第32回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会 13～14歳の部 男子200m自由形 優勝(渡会舜) 平成23年度 第34回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 13～14歳の部 男子50m平泳ぎ・100m平泳ぎ・200m平泳ぎ 優勝(渡部太一)	山形県 水泳連盟	全国JOCジュニアオリンピックカップ水泳競技大会において、全国の並み居る強豪を抑えて2年連続優勝に導き、さらに今年度は、渡部太一選手の3冠という輝かしい成績を達成された。
2	かいぬま きよあき 開沼 清秋	平成22年度 第33回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 13～14歳の部 男子50m平泳ぎ・100m平泳ぎ 優勝(大久保琳太郎) 平成23年度 第51回全国中学校水泳競技大会 男子100m平泳ぎ・200m平泳ぎ 優勝(大久保琳太郎)	山形県 水泳連盟	全国JOCジュニアオリンピックカップ水泳競技大会及び全国中学校水泳競技大会の全国大会において、全国の並み居る強豪を抑えて、2年間で4種目の優勝に導いた。
3	きむら ふみひろ 木村 文浩	平成23年度 全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会 FK-2 200m 優勝 佐藤藍、早坂茜音(谷地高校) 平成23年度 全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会 FK-4 200m・500m 優勝 木村美貴、斉藤光里、安達楓香、早坂枝里(谷地高校)	山形県 カヌー協会	氏は、卓越した指導により、本県選手を全国優勝に導いている。20年以上にわたる氏のカヌー指導は、近代的な指導法に現役時代から培った精神的指導を取り入れ、生徒のやる気を引き出している。例年の全国優勝や入賞実績をみるに、県スポーツ界への貢献は大である。
4	はしもと よしひさ 橋本 佳久	JOCジュニアオリンピックカップ平成23年度全国中学生カヌー大会 K-1 500m 優勝 三澤涼太(西川中) JOCジュニアオリンピックカップ平成23年度全国中学生カヌー大会 K-2 500m 優勝 三澤涼太、松田廉(西川中) JOCジュニアオリンピックカップ平成23年度全国中学生カヌー大会 K-4 500m 優勝 三澤涼太、松田廉、眞壁涼、白田隆之(西川中)	山形県 カヌー協会	氏は、少人数部員のカヌー一部でありながら、その少人数という特性を活かし、選手たちの個々の隠れた力を引き出して全国優勝に導いた。その指導は、単に競技指導に留まらず、あいさつを通じた人間教育や共に取り組む心の育成も合わせ持っており、全国の指導者からも一目置かれる存在である。
5	ふくしま まさと 福島 雅人	第44回全日本実業団バスケットボール競技大会 優勝 (山形銀行ライヤーズ) 高松宮記念杯第44回全日本実業団バスケットボール選手権大会 優勝 (山形銀行ライヤーズ)	山形県 バスケットボール 協会	山形銀行女子バスケットボール部を、年間2度の優勝に導いた。また、年間を通して小・中・高・大学生対象にクリニックや練習試合を実施し、本県のバスケットボール競技の技術向上、一貫強化及び普及に多大な貢献をしている。

平成23年度 感謝状受賞者

(市町村体育協会推薦)

番号	氏名	スポーツ関係歴	推薦団体	推薦理由
1	かとう れいしゅう 加藤 玲宗	昭和51年 4月～58年 3月 鶴岡市体育協会 常任理事 昭和58年 4月～平成 9年 3月 鶴岡市体育協会 理事長 平成 9年 4月～15年 3月 鶴岡市体育協会 副会長 平成15年 4月～23年 3月 鶴岡市体育協会 会長	鶴岡市 体育協会	昭和51年度から鶴岡市体育協会の役員として、平成15年度からは会長としてスポーツの普及・発展に尽力された。永年にわたり、当協会の役員として、競技スポーツの普及・強化を含め、市民の生涯スポーツ振興に果たされてきた功績は極めて大である。また、昭和58年度から平成14年度まで、20年間の長きにわたり県体育協会の評議員・理事としても貢献された。
2	ごとう ひとみ 後藤 仁	平成15年 4月～23年 3月 平田体育協会 会長 平成23年 4月～現在 平田体育協会 顧問 平成15年 4月～現在 平田体育協会 テニスクラブ会長 平成15年 4月～23年 3月 飽海地区体育協会 評議員 平成15年 4月～23年 3月 庄内地区体育協会連絡協議会 理事	平田 体育協会	平田体育協会会長を8年間歴任し、長年にわたり地域スポーツ振興に貢献された。現在は顧問として指導に当たられている。

(競技団体推薦)

番号	氏名	スポーツ関係歴	推薦団体	推薦理由
3	おかざき こういち 岡崎 紘一	昭和54年 4月～平成23年 3月 山形県馬術連盟 理事 平成15年 4月～23年 3月 山形県馬術連盟 副会長 平成 9年 4月～22年 3月 山形県体育協会 評議員	山形県 馬術連盟	氏は、県馬術連盟の役員として長きにわたり理事を務められ、平成15年度からは副会長としてその重責を果たされた。教職を退職後は、自ら乗馬クラブを主宰し、白馬を東北総体の出場馬(平成17～20年度)として提供するなど、競技力向上にも尽力されている。平成22年度に当連盟職を後進に譲られたものの、乗馬を継続し幅広い年齢層の乗馬の普及に努めており、本県馬術界・県スポーツ界への貢献度は極めて大である。

平成23年度 特別賞受賞者

番号	氏名	受賞事項	推薦理由
1	山形市立商業高等学校 女子バスケットボール部	第66回国民体育大会並び第42回全国高等学校選抜優勝大会(ウインターカップ)において、準優勝を果たした。	全国的に普及しているバスケットボール競技で、本県の高校が連続して全国大会の2大会で準優勝を果たした功績は大きく、最後まで全力を尽くすプレー姿勢は他の模範となり、県民に多くの感動を与えてくれた。